

南相馬市の敬老祝いのあり方

①敬老祝い金について

【現行】

- 77歳： 10,000円
- 88歳： 10,000円
- 99歳： 10,000円相当の商品券
- 100歳： 100,000円

【課題】

- ・対象者数の増加に伴い、予算が増加する一方である。
- ・平均寿命（男81.09歳・女87.26歳）であり、敬老を祝うという観点から、対象年齢の77歳は、検討が必要。
- ・決算委員会で年齢で重みづけをするべきではないかとの意見あり。

【案】

77歳支給額を5千円とする。

②敬老会について

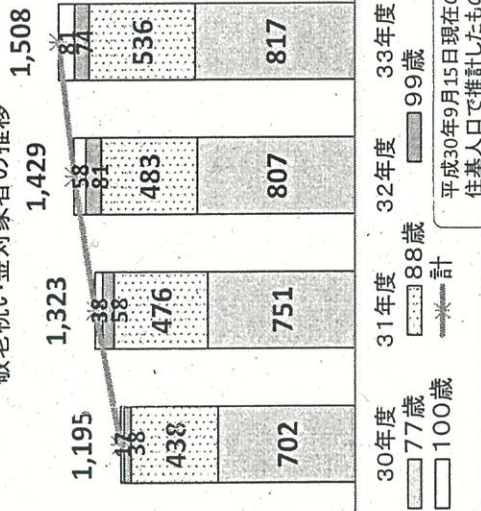
【現状】

- ・震災後、避難生活が継続している等の理由により、市主催のものは休止していた。
- ・アンケート結果（行政嘱託員対象）から、福祉委員会やまちづくり委員会で開催していると回答した方は3割程度であった。

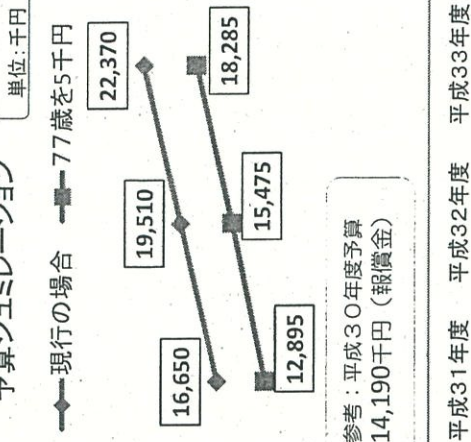
【アンケート結果（今後のあり方）】

- ・震災前のように各区で開催してほしいという意見が58.0%と最も多く、身近な場所での開催希望は、34.0%であった。
- ・交通手段を確保してほしいとの意見あり。

敬老祝い金対象者の推移



予算シミュレーション



77歳を5千円にした場合400万円前後の減額が見込まれる。

③今後の敬老会のあり方(案)

【実施方法】 市が実施主体となり、各区で隔年開催とする。

(市で実施しない年は、身近な場所で開催した地区に補助金を交付)

【会場】 ゆめはっと・さくらホール・浮舟会館

【交通手段】 バスを運行し、生涯学習センターからピストン輸送を行う。

【予算規模（平成31年度当初予算要求額）】 総額4,845,000円
 原町区2,495,000円・鹿島区1,543,000円・小高区807,000円
 内容：会場使用料・記念品代・バスの借上げ料等